

神崎 (会津北嶺) フライ級8強



高校総体

全国高校総合体育大会(インターハイ)は1日、北海道で各競技が行われた。ボクシングはフライ級の神崎烈(会津北嶺)が判定勝ちで準々決勝に進んだ。ライト級の山崎湊(学法福島)は3回戦で敗れた。テニス団体は男子の相馬、女子の磐城ともに1回戦で敗退した。

ボクシング

▽フライ級3回戦
(北ガスアリーナ札幌46)

神崎烈(会津北嶺) 判 定 石見正道(広島・崇徳)

▽ライト級3回戦

渡辺大虎(群馬・伊判勢崎工) 定 山崎湊(学法福島)



【ボクシングフライ級3回戦】判定勝ちで準々決勝に進出した会津北嶺の神崎(左)=北海道札幌市・北ガスアリーナ札幌46

相手の「右」見切って攻め

「最初で最後のインターハイで8強入りはうれしい」。ボクシングのフライ級3回戦で判定勝ちし、準々決勝に進んだ会津北嶺の神崎烈(3年)の笑顔がはじけた。全国大会への出場経験はなく「悔いの残ら

ないよう全てを出し切る思いで戦った」と振り返った。

ボクシングを始めたのは高田中2年の時。会津若松市のボクシングジム「ウェルネス会津ボクシングセンター」に通って力を付けた。神崎は接近戦でボディやフックを放つスタイル。初戦の2回戦では持ち味を發揮して勝ち上がった。

3回戦の相手の石見正道(広島・崇徳)はアウトボクサーで、1ラウンド目はペースを握られた。「相手の右ストレートの癖を見抜いた。そこで自分のスタイルではないが、相手の右ストレートに合わせて攻撃することにした」。2、3ラウンド目は、神崎のコンビネーションパンチが当たり、接戦を制した。

準々決勝の相手は6月の東北高校選手権で敗れた佐々木大斗(青森山田)。神崎は「次戦は厳しい戦いになると思うが、しっかりと集中して、敗戦の借りを返したい」と気合を込めた。(国分利也)